

内子

# うちうち うちこの

……  
うちうちの内子情報。  
……

……  
観光ブックでは教えてくれない、  
……



うちうち!  
✓

もくじ

03	内子町並みマップ	11	うちこの和 手しごと職人の家 山本勝美さん
05	内子町並みガイドの会 越智益子さん・大伴レイ子さん 泉口美知枝さん・薦田和子さん 町田幾子さん	13	HOTELころくら 大西啓介さん
07	大森和燭燭屋 大森太郎さん・大森克子さん 大森亮太郎さん	15	武工房 武智寿夫さん・秋山登紀子さん
09	内子座 泉忍さん	17	高いと暮らし博物館 人形たち
11	うちこの和 手しごと職人の家 山本勝美さん	19	うちうちすぎるアレ 〜気になる看板・モニュメント〜
13	HOTELころくら 大西啓介さん	21	かつ盛鮮魚店 酒井勝也さん
15	武工房 武智寿夫さん・秋山登紀子さん	23	内子晴れ 山内大輔さん
17	高いと暮らし博物館 人形たち	25	洋燈屋ICHII 西山洋一さん
19	うちうちすぎるアレ 〜気になる看板・モニュメント〜	27	内子の小学生 やえちゃん・さらちゃん
21	かつ盛鮮魚店 酒井勝也さん	29	ツム・シュバルツェン・カイラー デルクセン・イエンスさん・知里さん
23	内子晴れ 山内大輔さん	31	シャルム 大塚莉奈さん
25	洋燈屋ICHII 西山洋一さん	33	菓子と器 宮栄 宮瀬貴久さん・宮瀬由美さん
27	内子の小学生 やえちゃん・さらちゃん	35	内子町図書館情報館 小泉明子さん
29	ツム・シュバルツェン・カイラー デルクセン・イエンスさん・知里さん	37	劇団オーガンス
31	シャルム 大塚莉奈さん	39	うちうちのことば
33	菓子と器 宮栄 宮瀬貴久さん・宮瀬由美さん	40	せだわについて
35	内子町図書館情報館 小泉明子さん	41	うちでたべるうちこ
37	劇団オーガンス	44	うちでつかううちこ
39	うちうちのことば	46	うちうち発見ピンゴ



いまもむかしも、なにかと深い。

ようこそ、  
うちこへ。

昔ながらの町並、ゆたかな自然。

古き良き観光名所は数あれど、内子ほど

のんびり、ゆったりしてしまう町はめずらしい。

このまったり具合の理由とは・・・？

その答えは、内子に住む人にあります。

観光ブックには書かれていない

内子の「うちうち」話を聞きに、いざ出発！





UCHIUCHI

内子観光のチャーターブーズエンジェル

薦田 和子 さん 泉口 美知枝 さん  
 越智 益子 さん 大伴 レイ子 さん  
 町田 幾子 さん (右から)

## 内子好きがすすめる、 内子のいいところ。

内子の町並みを歩いていると、必ず目に入るものがある。それが、内子町町並みガイドの会のお揃いのジャケット。ボランティアが集まったメンバーはほぼ内子出身で、案内するあたりは自分の庭のようなもの。嫁いできてから内子にきた、という人でもかなりの内子ベテランだ。絶妙な距離感をとりながらも、途切れることのないトークで心の距離はすぐ縮まっていく。「メンバーはみんな内子育ち。内子が好きな人ばかりよ」と口を揃える。内子のいいところ

は、人も気候もおだやかなところ。実家が木蠟業を営んでいたという人も多く、家の歴史と内子の歴史がリンクするところがあるのも関心が深い理由の一つだそう。「内子は盆地で災害が少ない」といった地域情報から、「せだわ(家と家の間の細い路地)はあそこ角から見るといい」「天神社に上げれば内子が一望できる」「内子出身の有名人は…」などなど、細かな情報が次々にでてくるのが面白く、つい聞き入ってしまう。外国人観光客も年々増えて

おり「英語で案内といっても最初はオーバーセア、しか言えなかったから。ガイドもこれじゃいかんと英語ガイドの会を作りました(薦田さん)」と、多様化する観光客にもグイグイいく。これが内子の町並みガイドである。



うちうち!

### うちこのおすすめ

内子では子どもも大人も、車に乗ってすれ違う人にすら大きな声であいさつするのが日常。独特な光景ではあるが、なんともほっこりするのです。



内子町町並みガイドの会

住所：内子町内子2020  
 (内子町ビジターセンター内)  
 電話：0893-44-3790





うちうちの呼び名：太郎さん おかん リョウ

内子歴：180年（老舗）



「六代目と息子が作った和蠟燭の違いはわかりますね。上から見て層に違いがあるんです。個性が出てくるんですねえ」と、母・克子さんが店内に並べられた和蠟燭を見ながら教えてくれた。父・六代目の太郎さんは「先代が亡くなってから、ずっと一人で作ってきました。息子が継ぐと言ってくれて嬉しかったですね。分担できるようにになって、作業量も減らせて少し楽になりました。」と目を細める。七代目大森和蠟燭の後継者となった息子・亮太郎さんは、元アパレル関係の仕事をしてきた経歴の持ち主。別の仕事をしたからこそ、伝統工芸のよさを再認識し、自分から後継を決めた。

和蠟燭の特徴は火を灯しても溶けた口ウが流れず、煤が出ないこと。昔は仏壇や舞台での利用がメインだったが、今ではインテリアや癒しのアイテムとして使われることも増えているとか。旅番組で訪

## お仏壇から、インテリアまで。和蠟燭に、新時代がきた！

れる有名人は後を絶たないが、ふらりとプライベートで来ることもしばしばという。「ファッション業界では有名な二村毅さんが来られたときはテンション上がりました。」と振り返る亮太郎さん。今では若い人の姿が増えているのが嬉しい変化だ。自身も和蠟燭をキャンプやリビングのインテリアとして使うなど、新しい使い方を提案中。



## うちこの味

レストハウス シャロンのミートスパ。小さい頃から行っている、思い出の味。(亮太郎さん)



## うちこのおすすめ

天神社からの眺め。内子の町並みを見渡せます。町並みですが海、山、川もあるのが内子のいいところです。(克子さん)



大森和蠟燭屋

住所：内子町内子2214  
電話：0893-43-0385  
営業時間：9:00～17:00  
定休日：月曜・火曜



引き継がれし熱いろうと情熱

大森 太郎さん  
亮太郎さん  
克子さん

UCHIUCHI



## 内子に流れる風が いいんですよねえ

「ガイドは芸達者で個人的な人が多いですね。内子に興味を持ってもらう、入口のようなものですから。」内子座の歴史や館内の案内をしている泉さん。お誘いを受けたのがきっかけで始めた仕事ももう六年目になる。泉さんのストーリー仕立てのガイドスタイルは、最後まで全く飽きさせないところがさすが。

内子座は大正五年に創建され、映画館や商工会議所に姿を変えながら、昭和六十年に芝居小屋へと復原され現在に至る。復原直後の内子座はお客様もまだ少なく、表で子どもたちが遊んでた。たまに有名な役者さんが来て、あとでその人が誰か知るといって、橋爪功さんが道を歩いてきたこともあったかな。学校行事やピアノの発表会会場として使うこともあり、観光地として有名になった今でも、地元で馴染みの場所なのだそうです。



うちこの呼び名：しのぶちゃん  
内子歴：遠慮越しました♡

### うちこの味

やっぱり「まるずし」。寿司っていうのにお米がないのよ、おからなの！商店街にある「かつ盛」がこのあたりでは有名な。



### うちこのおすすめ

内子石畳地区の村の風景はいいですね。あとは内子の町並み。古い町だけに住んでいる人が元気！新しく発信力のある人が移住してくれて、活気ある雰囲気も好きです。



屋根には  
招き狐が



#### 内子座

住所：内子町内子2102  
電話：0893-44-2840  
営業時間：9:00~16:30



UCHIUCHI

ストーリー仕立てで語る  
名ガイド  
泉忍さん



## 「話題がなければ、内子へ。」 面白いことが次々と出てくる町。

近年、内子座では森山未末さん、満島ひかりさんなどそうそうたる俳優が公演を行っているが、彼らの内子滞在中のアテンドを引き受けている山本さん。「舞台で来られた芸能人の方からは、エロかつちゃんと呼ばれています」。本業は木工職人で、店内に並ぶ木工細工のほか、内子座で行われる舞台の道具も作る。自身も「劇団オーガンス」のメンバーとしてステージに上がることもあるそうで、とにかくディープな内子の集大成が、エロかつちゃんである。

作品を生み出すのは、全国探しても珍しい」という。内子座升席に椅子を置いたりのぼりで服やバッグをデザインナーの手でリメイクするアイデアを思いついたり、歴史と現代のミックスを仕掛ける山本さん。「いいと思うことにはすぐ動いちゃう。行政やお金は、その後考える。」内子の活気は、人のパワーでできているのだ。



### うちの おすすめ

木製の逆立ちゴマ。比重の違う木を合わせて作っているので、回すと重心が変わりクルリと上下が反転するのが楽しい。子どもに、といいながら大人がハマる一品。

うちうちの呼び名：エロかつちゃん

内子歴：67年



うちの和 手しごと職人の家

住所：内子町内子2899-1  
電話：0893-44-7776  
営業時間：月～金10:00～16:00  
                  土日祝10:00～17:00  
定休日：木曜

UCHIUCHI

内子の歴史を打ち抜く  
スナイパー  
**山本勝美**  
さん



いなかに帰ってきた〜！  
という気分で泊まる宿。

内子座から少し歩くと、ぱつと開けた場所にある、カフェのような佇まいの落ち着いた建物。築百二十年の蔵をリノベーションしたホテル「こころくら」だ。…が、代表の大西さんの名刺には「大西呉服店」の文字が。これはいったい…。

「うちは代々呉服屋で。呉服屋といっても昔は食料雑貨とか、なんでも屋みたいな感じだね。内子の流通拠点だったようです。」(その繁栄の跡は、いまでも内子座の看板に残されている。時は流れ、次は宿をやりたいと言っていた父親の思いを引き継ぐ形でこの宿を始めたそう。「観光地なのに宿泊場所が少なく、古い宿も高齢化が進んで、年々減って。父親は観光協会にいて、これじゃいかんと一番わかっていましたから。若い頃、住み込みでペンションやロッジを渡り歩いた大西さんの経験が生かされ、今やリピーターを抱える人気の宿に成長しているからすご



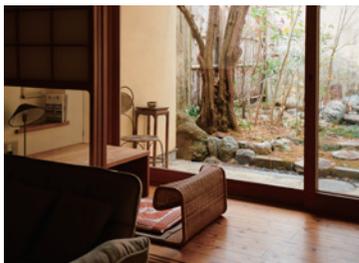
呉服木物花糸綿糸雑貨高  
大西屋半呉服店

い。(有名人もこっそり泊まりにくるとか!) 増える空き建物の活用にも一役買っている。商店街の建物は、そこまで大きくないように見えて、実は奥がずいといと長い。昔は間口の大きさが税金が決められていたからだというが、なるほどたしかに部屋の奥に庭があり、室内も広い。奥ゆかしそうで、したたか。どことなく京都のイメージに近いような、内子の営みは面白い。

うちうち!

### うちこのおすすめ

内子を楽しむなら1~2泊では足りないかも。派手な名物料理はないけれど、山のもの、海のもの、地酒もある。ふらりと入った店が気に入って、そこで飲むために宿泊する人もいるくらい。田舎に帰省するような気持ちで来てもらえたら。



うちうちの呼び名「啓にいちちゃん」  
内子歴45年



HOTEL こころくら  
住所：内子町内子1995 (フロント)  
電話：0893-44-5735  
営業時間：チェックイン14:00  
チェックアウト11:00

UCHIUCHI

呉服屋から、  
お宿になりました。

大西 啓介 さん





一緒にいるほど、味がでてくる。  
竹も、人も、同じかなあ。

「竹細工をはじめた理由ですか？材料費がタダだから！（笑）」ガハハと笑うのは、武工房のお二人。工房で使用する竹は近くの山に生えている内子のもので、切ってもすぐ生えてくるため材料には困らないとか。しかも鉋一本で作業ができる。なるほど材料費はかからないが、つまりは腕次第といったところか…。

武智さんが竹細工職人となったのは、六十歳を過ぎてから。会社を退職後に京都伝統工芸大学で竹細工の技術を学び、内子の竹の素材感と町並みに惚れ開店。秋山さんは同じ学校の後輩にあたるそうで、「作業に使う竹が割れず泣いていたところ、声をかけてもらったのがはじまり」と出会いを振り返る。その後、縁あって武工房に合流し今にいたる。

一言で竹職人といっても、二人の作品の雰囲気は全く違う。秋山さんは細いメタケを

使った手馴染みの良い生活の道具。太い真竹を使う武智さんの作品はびしりと網目の揃った頑丈なもの。縁あって作ることとなった大嘗祭（皇位継承の重要祭祀）で使用された竹箱は、細かな曲面作業が特徴のメタケ職人秋山さんと、角箱を正確に編む武智さんの技術があっこそ作ることができた逸品だ。

また二人で一つの作品を作りたいかという問いには、きっぱり「NO!」。夫婦漫才のよくなやりとりが、今日も内子の町に響く。



武工房  
住所：内子町城廻227  
電話：090-3161-8645  
営業時間：9:00～18:00  
不定休

うちこの  
おすすめ

弓削神社の屋根付き橋は素晴らしい！（武智さん）ちょっとここから離れているんですけど、観光客の人にも連れて行く！と車を出して送っていくほど、人にすすめています。（秋山さん）



竹を割ったような性格の  
竹職人  
武智 寿夫 さん  
秋山 登紀子 さん



# うちうちすぎるアレ



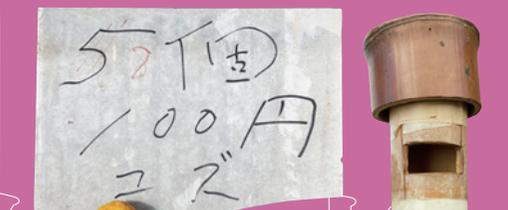
▲スキー場の「スキー坊や」  
▲上方我内装飾  
▲「不苦勞」  
▲内子町指定ペットボトルゴミ箱



▲巨峰園がたくさん  
▲大黒天? さっくりした価格設定  
▲「う」が失踪中



▲大黒天? さっくりした価格設定



▲料金入れ

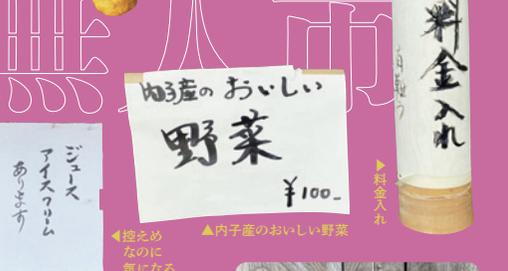
## 玉起屋商店



▲何屋なのか気になる  
▲「不苦勞」  
▲「ちびっこ交通安全」  
▲「玉起屋商店」



▲お金にシビヤな招き猫



▲内子産の美味しい野菜  
▲料金入れ  
▲お金にシビヤな招き猫



▲身元調査 おことわり  
▲海鼠壁のみなさん  
▲招き猫



▲黄金の招き猫  
▲老舗感あふれる字体  
▲内子産物  
▲内子産のなな  
▲柔饅頭



▲身元調査 おことわり  
▲海鼠壁のみなさん



▲招き猫  
▲身元調査 おことわり  
▲海鼠壁のみなさん



▲招き猫  
▲身元調査 おことわり  
▲海鼠壁のみなさん



▲招き猫  
▲身元調査 おことわり  
▲海鼠壁のみなさん



▲招き猫  
▲身元調査 おことわり  
▲海鼠壁のみなさん



▲SKI YARN  
▲「う」が失踪中  
▲内子産物



▲山本  
▲森文  
▲招き猫



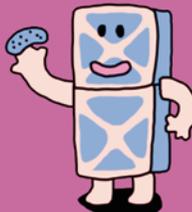
▲マンホール  
▲マンホール  
▲マンホール

## 内子の町並に鎮座する気になる看板&モニュメント

昔ながらの雰囲気の色濃く残す、味わい深い内子の道。歩いていると目に入る、数々の看板たち。なんとも素朴で愛らしく、するりと心に入り込んでくる魅力的なフォルムのオブジェ…。それぞれに用途を持ち、必然的に生まれたモノたちのはずが、内子の町並の中に佇むだけでなんともジワジワくるのはなぜなのか。今回スタッフが取材中、おのおの「じわる」看板や町のモノを撮影し持ち寄ったところ、あるわあるわ、味のありすぎる逸材たち。その中でもなんと記憶に残った精鋭たちを集めてみることにした。どこにあるかは、あえてお知らせしませない。内子散策がてら、あなたの中のベストジワリズムなワンシーンを探してみたい。

内子のジワリズムシーンには大きく分けて看板、キャラクター、オブジェの3つ。ジャンル分けが適切かどうかはさておいて、まずはご覧いただきたい。■看板群/内子商店街に残る古き良き商店の看板たち。役目を終えた今でも内子の町の移り変わりをじっと見つめている。当たり前であるが昭和の看板はほぼ手書き。どことなく温かみのある文字の並びから、商店の店主の人柄をイメージできそうな気がする。今再現したらかなりオシャレなのではと思うフォントもあり、職人の技術の高さも感じられる。■謎のキャラクター群/内子オリジナルの訪問販売お断りチラシは公募で選ばれたかのような雰囲気もあるが、なんとも味がある。数種類あり、それぞれ別の味わいがあるのでぜひ軒先を探して欲しい。メーカーの公式キャラクターらしきスキー坊やは、別の地域でも同じものを見たことがあるが、手書きゆえに唯一無二感が。■オブジェ群/内子の町並には海鼠壁(なまこかべ)が施されており、コテ絵と呼ばれる飾りが建物の壁面に見られる。強そうな龍などをモチーフに選ぶあたり、ちょっとコワモテの主人だったのかも…など、かつての暮らしを想像しながら見るのも感慨深い。屋根に残る家紋らしきモチーフはもちろんのこと、城下町ならではの石垣にも「この石垣の隅の形の意味は…?」などと唸るものも多く、想像力を試されている感満載だ。そのほか、家の軒先に出される無人市(良心市。無人販売で野菜などが並ぶ。)の料金箱も個性があって良い。招き猫が多めなのは古く商いで繁栄した店が多い内子の名残なのか、いや、ただ猫好きなのかも。しかし内子の町並の中で野良猫に遭遇することがあまりなかった。(余談: 飼猫率は高そうな雰囲気だった。)

今回紹介したものはほんの一部なので、ぜひ内子に立ち寄る際には細部に注意して欲しい。家と家の隙間「せだわ」を抜けると、思わぬ遺構に出会うこともある。内子には、好奇心をくすぐるモノたちがあなたの視線をきっと待っている。





## 内子は、人も商店街も 活きがいい。

内子の町並保存地区の入り口にある、創業百三十年を迎えた老舗の魚屋「かつ盛」。内子商店街では知らぬ人がいない有名店だ。店頭には八幡浜の市場から直セリで仕入れる新鮮な魚が毎日並ぶ。創業以来受け継がれた重厚な看板が…と思いきや、看板の隅には悪役商会でおなじみ、八名信夫さんのサインが！なぜ？「昔、実家の離れに舞台で訪れた八名さんの劇団の人たちが泊まることになって、それ以来仲良くなっちゃって。その縁で、ちょうど店の改装のタイミングの時に、ぜひにと八名さんに看板を書いてもらったんです。」八名さんはかつ盛主催の、かつ盛コンペにもずっと来てくれていたとか。内子座にくる役者さんとの交流、ここにも。

の頼もしいつながりもありますし、先輩の商売のやり方とか、内子での活動のことなど、地元へ帰ってきた当時は横のつながりに支えてもらいました。」夏に夜市や一〇〇円商店街、夏祭りなど数多くの行事を企画し、地元の人たちの活気を支えている。商工会も年々若い後継者の参加が減っており、寂しいところ。「年齢的にも中堅のはずが、ずっと若手と言われてます…。」



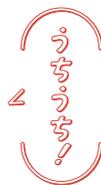
うちうちの呼び名：かつちゃん

内子歴：20年



### うちうちの味

「丸ずし」シャリのように握ったおからを酢締めした旬の魚で巻いたもの。季節によってあまぎやサヨリ、アジ、いわしなんかも作ります。内子の味として、仕出しのメニューによく入ってますよ。



かつ盛鮮魚店

住所：内子町内子1967  
電話：0893-44-2202  
営業時間：9:00～18:00  
定休日：土曜

UCHIUCHI  
ピッチピチの  
魚と店主のいる老舗  
**酒井勝也**  
さん



うちうち!

### うちの おすすめ

内子は人口の割にお酒を出すお店が多いです。日本酒の蔵元もありますね。四国の個性的なブルワリーのクラフトビールも揃っていますのでふらっと寄ってみて。地元の人も来るので、地域のことを教えてもらえます。



#### 内子晴れ

住所：内子町内子3025  
電話：0893-57-6330  
営業時間：11:00～15:00  
18:00～22:00 (L.O.21:30)  
定休日：月曜・火曜



うちうちの呼び名：だいちゃん

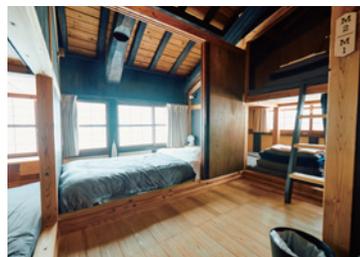
内子歴：7年



## 四国に住みたくて気づけば内子に。

神奈川県出身の山内さんが内子にきたきっかけは、お遍路を周ったこと。「それまで四国に行ったことなかったんですよ。」ぼんやりとあったかいイメージはあったが、訪れてみてその魅力を実感。「四国に住みたい！」と地域おこし協力隊として内子にやってきた。ミッションは、町を盛り上げること。観光をベースにした町おこしアイデアを生み続けた。任期を終え、観光や情報の拠点となるようゲストハウス&カフェ&バーをオープン。若い頃バックパッカーをしながら国内外のゲストハウスを

周っていたというだけあって、止まった宿のいいところを参考にしつつ居室が作られており、ベッドスペース・共有スペースの居心地は抜群だ。内子といっても範囲は広く、町並み以外にも実は観光スポットが多い。自転車を借りれば広々内子町内もふらりと行くことができる。また今では内子に集まる若いクリエイターにも注目が集まっており「内子五十崎地区のゆるやか文庫さんや小田地区のどい書店さんなども面白いです」と山内さんもおすすめ。どちらも古い建物を生かしつつ、



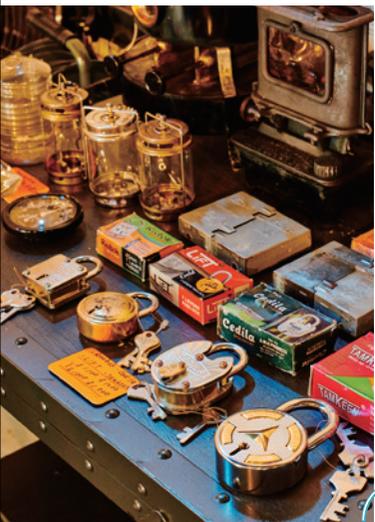
内子の文化に新しい小商いを展開。「この場所が内子の窓口として、魅力を知るときかけになる場所になれば」新しい風が、今日も宿ののれんを揺らしている。



UCHIUCHI

内子の居心地が良すぎる  
ゲストハウス

山内大輔  
さん



うちうち!

### うちこのおすすすめ

内子には小田深山をはじめ自然や綺麗な景色がいっぱい!自然の中で使う道具を揃える楽しみもあります。アウトドアでの遊びは、子どもにとっても自然の大切さや危険と一緒に学べる良い機会になりますよ。



### うちのおすすすめ

オリジナルのハリケーンランタンシェードはヘラ紋りで作られたこだわりの品。取り付けるとレトロな雰囲気になるリフレクター効果で下に向けて光を集中しサイトを明るく照らします。



内子歴: 6ヶ月

### 洋燈屋 ICHI

住所: 内子町内子2627 町並みテラス101  
電話: 0893-57-6234  
営業時間: 月~金 13:00~18:00  
          土日: 10:00~18:00  
定休日: 水曜 年末年始



## 和蠟燭の町に

### 洋燈がやってきた。

「内子といえば和蠟燭が有名ですが、実はランプの燃料パラフィン、和蠟燭と同じ素材でできているんですよ。」と話すランプ専門店店主の西山さん。意外な共通点と、古いものを大事にする土地柄が気に入り、内子に店を開こうと決めたのだそう。町並保存地区にあり、お店には観光客をはじめ地元の方まで老若男女問わず訪れる。ランプ専門店の実店舗は珍しいそうで、ランプ好きの人、アウトドア好きの人の来店がメインだが、どこなくおしゃれな雰囲気

誘われふらりと覗く人も多い。現代の手頃なものからヴィンテージまで、西山さんこだわりの品が数多く揃う。明治・大正時代のランプを見ながら、「懐かしい!子どもの頃はこのランプを磨くのが仕事だったのよ」と子どもの頃の体験を孫に教えるおばあちゃんの姿もあるという。「ランプが昔話の接点になって、時代がつかなくていくような感じがある」そんな瞬間が日常で見られるのも、この内子ならではの。

内子に来てからはキャンプがさらに身近になったという西山さん。「仕事の後、河原でキャンプしてまた出勤、なんでもできる。自転車ですらと、買い物にいくくらいの感覚でキャンプできるのがいいんです」と笑う。使い続けていけるものと、百年経っても使えるものと一緒に、内子でまた新しい時間がスタートしている。



# RANPUYA ICHI



UCHIUCHI

内子の町に  
新たに灯ったランプの火。  
西山洋一さん

学校帰りの  
なかよし2人組

やえちゃん  
さらちゃん

UCHIUCHI



うちこのすきなところ？  
やさしい人がいっぱいいるよ。

いま、好きなものは  
なんですか？

さらちゃん  
「鬼滅の刃がすき！  
おばないとみつり。」

やえちゃん  
「おもしろい  
さらちゃんがすき！」



よくいくお店はありますか？

さらちゃん  
「よく行くのは、  
コンビニかな……」

やえちゃん  
「わたしは、さらちゃんのおうち！」

さらちゃん  
「やえちゃん！  
それ、お店じゃないよ！」



内子の中で  
好きな場所がありますか？

さらちゃん  
「小学校！すきなところは、  
たくさんあそべるところ」

やえちゃん  
「わたしのすきな場所は  
さらちゃんのおうち！」



ちうちの呼び名：やえやえ さららん

内子歴：8年



さらちゃん

やえちゃん

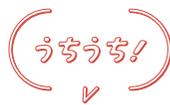


いつかは愛媛で店を開きたいと思っていたお二人。東京、千葉、ドイツ、京都と住む拠点を移したが、奇跡のような縁がつかがり内子に落ち着いた。内子の空き店舗を案内してもらい、下見に来てすぐ決断。「二人とも田舎育ちだったから、内子の雰囲気心地よかった」と知里さん。「料理だけやってくれたら、後は私がやるからっていつて(笑)」。四月に来て、六月にはもう内子に住み始めていたほどの即決ぶりだった。

「内子に来て驚いたのは、町並みで会う子供たちみんなが、こんにはは！って挨拶してくれること。中学生や高校生まで。素敵な町だと感動しました。」移住した時にはドイツ人が来るぞ！と噂になっていたそうだが、子どもから「ゲータンターグー！」と声をかけられた時はちゃんと調べて準備してくれたんだ、と感動したそう。「歩いていたら知り合い

## 日本じゃないみたい！？ ここは内子のローテンブルグ

がどんだん声をかけてくれる。その時間がとても好き。この町に住んでいるという心地よさを感じる。」とイエンスさん。古民家なども、古いものを生かしつつ残そうとするところがいい。若い人が楽しそうに生きていて、一人一人自分をしっかり持っている人が多い。内子の魅力の奥深さは、そんな人のパワーでできているのかもしれない。



### うちうちの味

シュニッツェルは日本で言うカツレツ。特製のソースをかけて召し上がれ。日本ではうちでしか飲めない「ケラービール」もおすすめ。ドイツビールは麦芽とホップと水以外入っていないので、コク深く優しい味わいですよ。



### うちこのおすすめ

移転前の店舗から見えていた、本芳我邸の大きなクスノキがおすすめ。木が揺れて葉がざわめく音を聞くゾクッとするほど！パワースポットとして出したらいいのと思うくらい。



ツム・シュバルツェン・カイラー  
住所：内子町城廻204-1  
電話：0893-57-9066  
営業時間：17:00~21:30 (L.O.20:30)  
定休日：水曜



料理も話もうまさるドイツ酒場

UCHIUCHI

デルクセン・イエンスさん

知里さん



うちうち!

### うちの おすすめ

私は甘いパンが好きかな。ちょうど焼き上がったマリトッツォっていうパン、おいしいですよ。人気なので、予約がおすすめです。



シャルム

住所：内子町内子2896  
電話：080-4036-8603  
営業時間：11:00~17:00  
定休日：火曜・第2第4月曜



うちうちの呼び名：シャルムのりなちゃん

内子歴：2年

## 内子の町と人に 愛されるパンをつくる。



「パン好きの母が、私パン屋をやる！と言ったのがきっかけでした。私は当時福岡にいたんですけど、帰って一緒にやるわって。」ほかほかの焼き上がったパンを手早く並べる娘・莉奈さんはこの店の看板娘。開店時間と同時に馴染みの顔が、まだ値札もついていないパンを慣れた手つきでトンぐでつまみ、トレーに移していく。年齢層は幅広く、母親よりも上の世代から小さな子供まで。主に近所の人が多いものの、おいしい噂は広がり町外からも注文が入ることもあ

るとか。初めは町屋でのんびりパンランチの店の予定が、テイクアウトのみの営業となったのを機に、今はパン販売も一緒するようになった。落ち着いた店内は、中庭が見え心地よい空間が広がる。内子の町並保存地区は改装や看板設置などに規制があり「配管の問題でエアコン一つつけるのも大変」と苦労もあったが、大家さんのご協力もあり改装は床の間の漆喰を塗り直した程度で済んだとか。こだわりのあるパンと落ち着いた古民家の雰囲気もあまって、

都会ではなかなか叶わないこのライフスタイルにも興味を持つお客さんは多いという。「住む場所も働く場所も選べる時代だもの、好きになつたところで生きていきたいから。」古い町並に、美味しそうな香りが今日も漂っている。



UCHIUCHI

魅力のパン屋

内子の空気に誘われた  
大塚 莉奈 さん



## うちこの おすすめ

知清河原沿い。子供とおたまじゃくしをとりに行ったら私が熱中してしまい、橋の上からおまわりさんに「お母さん、お子さんちゃんと見てあげて！」って叫ばれて恥ずかしかったな…。



## うちの けむくじやら

貴久さんの愛犬・大吉。迷子になり、発見したときには大号泣したそう。



### 菓子と器 宮栄

住所：内子町内子1956  
電話：0893-44-2657  
営業時間：8:30~19:00（土日祝は~18:00）  
定休日：水曜



うちうち

三元々は陶器の店と、お菓子問屋をやっていたんです。」代表の貴久さんはこのお店の三代目。取引先の芋けんぴメーカーが廃業すると聞き、製造機械と技術を譲り受けたのがきっかけでお菓子製造を開始したのだとか。「素朴で極力余分なものを使わない、自分の子どもに食べさせたいお菓子を作りたい」と完成したのが、「我が子菓子 善蔵」。昔ながらの玉子煎餅に、芋菓子など、懐かしい中にも新しい味が増え、

大人から子どもまでファンが多く、今では内子のお土産に欠かせない存在になっている。地方ではシャッター商店街が多い中、内子商店街は一つ一つのお店がすごく元気。横のつながりもあり、新しい人のチャレンジも嬉しいという。「商店街の人たちとは、仲いいですね。真面目な会議のあとには必ず飲み会（笑）」貴久さんの愛犬が迷子になった時も、商店街の仲間が必死で探してくれたとか。結束の強さは内

子に歴代伝わる頼母子（たのもし）という習慣でもわかるそうで、「自分に何かあったら母と子を頼む、からきたと言われています。助け合おうという：」と語る貴久さんの横で、由美さんが訂正。「：っていつてますけど、実態は「母子を頼んで飲みに行く」じゃないかと（笑）」どちらの説が正しいかは、ご想像におまかせします…。

うちうちの呼び名：よっさん・ゆみちゃん

内子歴：45年・21年



器もお菓子も、  
いいものを大切に。



愛犬をこよなく愛す  
お菓子屋さん  
宮瀬 貴久 さん  
由美 さん



## ここにしているとなんだか 若返らせてもらっています。

内子小学校の校長を退職後、内子町図書情報館の館長となった小泉さんは、生まれも育ちも就職もずっと内子という、内子大好き人間。教員時代は保護者が同級生という時代もあったそうで、今ではその子どもが保護者側になっているとか！世代がつながる姿を、カウンターの中から見続けている。

地元の木材を中心に県内産の材料を使った建物は、建築家の吉田桂二さん設計のもの。釘を使わない木組み、どんぐりの照明など、まるで森の中にいるような、静かどころかわくわくする雰囲気がある。朝はおなじみの顔や赤ちゃん連れのお母さんが、お昼を過ぎると小中学生が、夕方は電車を待つ高校生がやってくる、みんなの居場所。「いまだにみんな先生って呼んでくれて、若返らせてもらっています」と、嬉しい時間が続く。

読書をすすめており、本好きが多く、毎年十一月に開催する「内子町読書活動研究会」の講演会には、有名な作家が来るという。「講演会に谷川俊太郎さんをお呼びしたときは嬉しかったですね。教科書に載っている人にお話ししてもらくと、子どもも興味をもってくれますから。」子どもが主役の図書館に、また今日も「おかえり」「ただいま」の声が響いている。



うちうちの呼び名：アッコさん

内子歴：67年

### うちのおすすめ

絵本から流行の本、教科書まで幅広いジャンルが揃う図書館。地元の作家や郷土芸能などを紹介するコーナーも設けられている。棚の一角には内子町大瀬出身のノーベル文学賞作家・大江健三郎さんのサインと作品も並んでいる。



内子町図書情報館  
住所：内子町内子3427  
電話：0893-44-4198  
開館時間：9:30～18:00

UCHIUCHI

≡

図書館の館長は  
みんなの先生  
小泉 明子 さん

(写真中央)

# 劇団オーガンス



劇団員／(左から) 稲月道隆 山本佳恵名 山本勝美 徳田幸治 西千恵美 上岡駿介 福岡美穂

劇団オーガンスは、青年団活動の一環として演劇をしたことがはじまりだった。その後楽しさを覚えたメンバーが引き継ぎ旗上げ。年一回の公演で、もう二十公演以上を数える。

西「内子座をお客さんでいっぱいにしてよーってね。何をおういんす言いよんじやと(笑)」

ちなみに劇団名でもあるオーガンスとは、内子の方言で「できないことをいう、オオボラ吹き」の意味である。

脚本はすべてオリジナル。なんでもありだが、一つだけ決めていることがある。演劇のジャンルにはこだわらない。

稲月「僕は地元受けしかなかったものは作りませんか。内子座は観光客も見ることがあるしね。最近公演したのはSFモノで、火星に遭難した話。あ、社会派モノもありますよ？浮気される妻の話とか(笑)」

オーガンスの舞台に寄付やスポンサーはいない。収入は入場料一〇〇〇円のみ。だからこそ自由だ、と口をそろえる。

山本「終演後、さっさと片付けて焼肉へ。目一杯食べて、おーがんすいうて、感動を分かちあう。役者も大道具も関係なく一体感、達成感があるのがたまらなく嬉しいね。」

徳田「一年のうち、本番の日の三、四時間のために、全部使い果たす感じ。力もお金も(笑)」

若手劇団員・上岡さんは小学校の時にオーガンスを見て以来、いつか入団したい！とチャンスがうかがっていたという。

上岡「バイト先にたまたま徳田さんがやってきて。入団させてください！って直談判したんです。さすがに審査や面接があると思ってたら、いいよ、とアツサリ即入団。かつる(笑)」

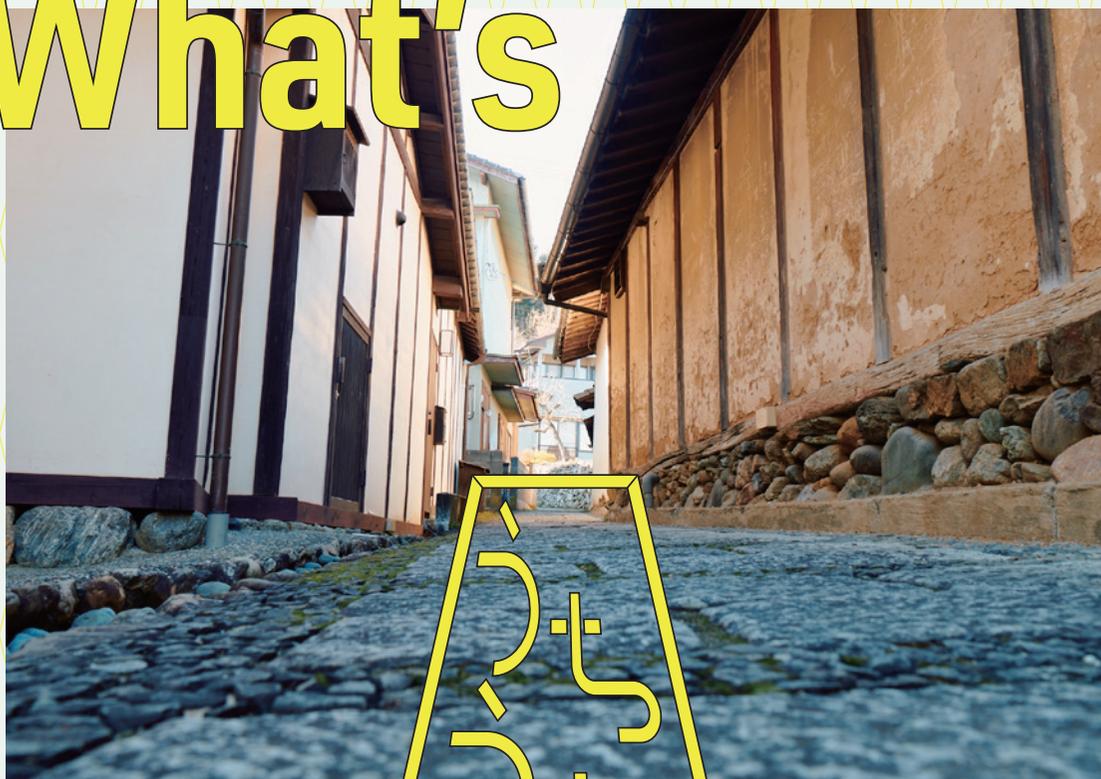
後輩育成など考えてこなかった劇団にとって、若い人の参入はいい刺激になっている。今後の目標もできたそうで……

山本「目標は海外公演！ローデンプルクでビール飲みたい！ソーセージ食べたい！」

最後に若手の目標も聞いてみた。

上岡「初めての役が全身赤タイツの火星人の役だったから、次は人間がやりたいです……」

# What's



「せだわ」とは家と家のスキマにある、細〜い路地の道のこと。人ひとりが通れるような狭い道は、子供の通学路や、ヒョイと通り抜けて

近道できる生活道路のようになっている。内子の町のスキマを縫うように伸びる、迷路のようなせだわの魅力をとくとご堪能あれ。

# うちうちのことば



# SEDAWA?

魅惑の  
せだわ  
コレクション

# 「うちうちのことば」

ほやけど  
このへんぬるたで、  
がいなもんで〜

とはいえこの辺りは地面  
がじゆるじゆるで、大変  
なことですよ



あっこ  
温泉あるけん、  
はまって  
かえろうわい

あそこに温泉が  
あるので、入浴  
して〜るよ。

いっ〜わい  
(行ってきます)



ようしも  
せんくせに、  
ずんべのかわ  
ぬかすな!

よく知らないの  
に、生意気なこと  
言うな!



おお、  
子どもらがあっこで  
ぞぶりよるわい

あらあら、子どもたちが元  
気にあそここの川にぞぶぞぶ  
入って歩いていますよ



撮影するんに  
ぼろでねじたような  
雨でよかったわい

撮影する日なのでバラ  
バラ雨ですぐ止んでよ  
かったですね



よそゆき顔の時は出てこないけれど、ひとたびテンションが上がると続々と口をつけて出てしまう、内子ならではの方言の数々。特に難解な今なんて言ったの!と驚く「うちうちのことば」を集めました。

英語やおもたら、  
おーまちがいじゃ!ガハハ

「劇団オーガンス」の名前も、内子ことばからきています。【おーがんす】とはあることないことであげる、おおほらふきのこと。



〈劇団オーガンスとは?〉  
内子座をホーム舞台として活動する、アマチュア演劇集団。脚本はもちろん大道具、照明、音響などすべて完全オリジナルで作っている。

【ちんちまんま】 名詞 白いごはん

【どば】 名詞 カエル

【みぞご】 名詞 大きめの水路

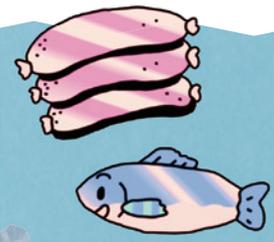
【いでご】 名詞 排水溝くらの水路

【ばっぼ】 名詞 おもち

【せだわ】 名詞 家と家の間の細道

【あおにえ】 名詞 青アザ

# うちで たべる うちこ

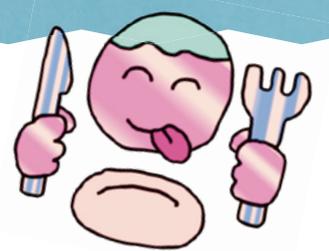


内子育ちの、  
ドイツの味  
ビールのおともに



昔はざぶざぶ  
川に入って  
獲ったもんじゃ

「内子で食べるものは、なんでもおいしいけんねえ」と、内子の人は口をそろえます。たしかに産直市場「内子フレッシュパーク」からりには海、山、川、町、それぞれに美味しいものがズラリと並んでいて、ひとつひとつが魅力的。あれもこれもと物色するうちにカゴがいっぱいに・・・なんてことも！内子でしか味わえない、うちうちの味。おうちでゆ〜っくり、お食べなはいや〜。



a. スパイシーソーセージ  
からり燻製工房  
内子産の豚肉やハーブを使った、本場ドイツ仕込みの技で作る本格ソーセージ。肉は柔らかくジューシーで、一口で癒になるおいしさ。ハムもあり。

b. あまご冷凍  
内子・小田の清流でのんびり育ったアマゴを、とれたてそのまま冷凍に。素朴な川魚の味わいが人気。もう焼くだけでおいしい。

c. 我が子菓子 善蔵  
ごまづくし・トマト・玉子落花せん 宮栄  
あま〜くて、香ばしい。パキッとした歯ごたえのあと、口の中で溶けるとこが懐かしい味わい。内子の素材を使用している。

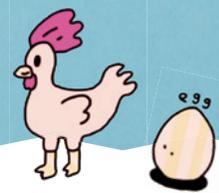
昔ながらの  
玉子せんべいが  
ちょっとイマドキな  
味になっとる



とれたて卵を  
ご飯にかければ  
ご馳走じゃ〜



d. 人生これが卵・インカの卵  
(有) イヨエッグ  
内子にある農場から届くとれたての卵たち。濃厚でプリプリとした弾力が特徴。色も味わいも本当にさまざまなので、ぜひ食べ比べを。



e. トミノチーズ  
(株) 醍醐  
内子の自然豊かな山で、放牧されて育った牛からできるチーズ。昔ながらの製法でできているから、ミルクの味がしっかり濃厚。



イタリアと  
内子の気候は  
にとらしいわい

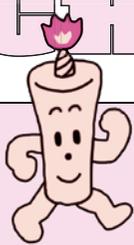
この大きさ、  
すごかろ？  
目があったら  
買っていき。



f. 女王蜂の蜂蜜漬け  
オオスズメバチを生け捕りにしてそのまま漬ける…なんともワイルドな一品。滋養強壮に、インパクトの強すぎるお土産にどうぞ。



# UCHINO SOUVENIR



## うっかうで ちこう

l.  
和蠟燭

### 江戸時代から続く 伝統の和蠟燭

美しい炎のゆらめきが癒し効果もあるとインテリアとしても人気。燐が少なく風にも強いので、最近ではアウトドアでの需要もあるとか。



n.  
逆立ちコマ

### クルリと返る面白さ！ 単純だけに、難しい

指の先だけでヒョイと回すほどの小さなコマが、回る途中で逆向きに。うまく回すまでにコツがあるので、思わずムキになる楽しさ。



o.  
内子産きんちゃく

### 内子産の粋な心を 普段使いに

内子産ののぼり（レプリカ）を使用。なんともポップなデザインと色合いがオシャレ。巾着は何かと使いやすいのでお土産にも。



p.  
ざる

### じっくりと馴染む 手編みの味わい

細いメタケで編まれたカゴは、ゆるやかに曲線がついた美しいフォルム。使うたびに色が艶色に変わっていく変化を楽しんで。



r.  
うちこ弁当 ダイケイ

### 内子の自然は おいしい味の立役者

美しい年輪を重ねた内子すぎを使った弁当箱。仕切りを組み合わせたつくりで、おかずを綺麗に見せてくれる。



m.  
ROBLANG  
トゥースブラシ・トゥースペースト・ソープ

### 柑橘の爽やかさを 毎日の習慣に

ホテルアメニティを手がける会社の内子産ヘルス&ビューティーブランド。内子産じゃばら果皮を使った石鹸は保湿力も香りも◎。



q.  
輪ゴム鉄砲

### 大人もハマる 子どものおもちゃ

遊びゴコロたっぷりの木のおもちゃも、大人がつくるところなる。ゴム鉄砲と侮るなかれ。なんと連射ができる驚きの仕掛けが。



i.  
じゃからビール  
じゃからサイダー  
内子フレッシュパークからり

内子産の柑橘「じゃばら」とからのコラボ商品なので「じゃから」。ゆずに似た果実は酸味が強く爽やかな味わいがクセになる。

暑い！でもおいしい！  
じゃばらで元気に



味も大事、見た目も大事。  
手作りのおいしさを。

k.  
Olive oil confit 食べる Olive oil  
farmer's kitchen HIMARINO

内子町大瀬地区の農家さんがつくるおいしいもの。娘に大地の味を伝えたいという思いで作られているだけに、野菜の旨味がギュッ。



h.  
内子夢ワイン  
内子の山ぶどうワイン  
内子ワイナリー

しっかりとした内子産山葡萄を100%使用。濃い色と味わいが特徴で内子夢ワインの最高峰とも名高い特別な一本。

内子の風土が育てた  
おいしいワイン



ここで  
買えるよ！

(株) 内子フレッシュパークからり  
内子町内子2452  
TEL: 0893-43-1122  
営業時間: 8:00~17:00  
定休日: 1月1日~3日  
E-mail: karari@cnw.ne.jp

g.  
GOOD MORNING FARM  
寿喜多 チリ栗コンフィ  
栗ハニー&山のフルーツ

内子町石畳の料理人兼栗農家「寿喜多/かめおか夫婦」の栗を使ったコラボ逸品。おつまみになるひと瓶は、料理のアクセントにも最適。

内子はお洒落な味が  
いっぱいあるんぜ



甘いだけじゃない、  
内子らしい味。

j.  
もち麦大福  
内子フレッシュパークからり

もちもちのもち麦（もちろん内子産）を粗挽き焙煎した粉を練り込んで作る大福。香ばしい麦の香りと餡の甘さが絶妙なハーモニー。



l. 大森和蠟燭屋 TEL:0893-43-0385 m. 昭和刷子株式会社 TEL:0893-44-5886 (ロブラング商品専用回線) n,o,q,r 内子手しごとの会 TEL:0893-44-7776 p. 武工房 TEL:090-3161-8645

a,b,f,i,j. 内子フレッシュパークからり TEL: 0893-43-1122 / c. 宮栄 TEL: 0893-44-2657 / d. (有)イヨエッグ TEL: 0893-44-3931 / e. (株) 醍醐 TEL: 0893-44-3998 / g. GOOD MORNING FARM TEL: 0893-23-9691 / h. 内子ワイナリー TEL: 0893-25-4281 / k. farmer's kitchen HIMARINO オンラインショップ <https://himarino2019.base.shop>

—めざせ!うちうちマスター—

# うちうち発見ビンゴ

内子の町歩きで目にする名所や、うちうちのおすすめをピックアップ。

「うちうちのうちこ」片手に町を巡れば、各スポットをとりまくディープな発見があるはず。

さあ、のんびり「うちうち」な内子に出会う旅に出かけよう!



みきゃん  
ぼうし



ランタン  
シェード



めっちゃ!マト  
せんべい



内子  
きんちゃく



輪ゴム  
鉄砲



内子の  
もじ



上の山天神社の  
かんばん



内子座の  
ガイドさん



みもとちょうさ  
おことわり!



イノシシの  
かんばん



YYYみたいな  
モニュメント



はっぴのような  
あかり



イヨエッグ  
人生これか卵



武工房の  
竹職人



黄金?の  
招き猫



なまこかべの  
でんわボックス

## うちうち発見ビンゴ 〈あそびかた〉

1 まずはふらりと観光。  
有名どころを散策します。

2 モチーフを発見したら、  
内側に折ります。  
(内子だけに)



3 まずは一列そろつたら、  
そこそこ内子通。



4 つぎに三列そろつたら、  
かなりの内子マニア。



5 せくぶんぶそろつたら、  
内子町並みガイドもびつくり  
うちうちマスター  
「内子ンシエルジュ」の誕生だ!



## うちうち うちこの

発行 | 内子まちづくり商店街協同組合

Creative director | 大森潤哉 (セラー広告株式会社)

Producer | 南谷有亮 (セラー広告株式会社)

Illustration | いしいひろゆき

Art direction / Design | 大福理絵 (RIE DAIFUKU DESIGN)

Edit / Copywriting | 矢野裕子 (広告企画堂ネコノテ)

Photo | 豊田晃佳

Special thanks | 内子町商店街のみなさん



